



厚生労働省岩手労働局発表  
平成 30 年 7 月 31 日（火）

【照会先】

岩手労働局職業安定部職業安定課  
課長 中村 悟 雄  
職業安定監察官 松川 信 亮  
電話 019-604-3004

報道関係者 各位

平成 29 年度ハローワークのマッチング機能に関する  
業務の総合評価の結果等について公表します！

厚生労働省では、ハローワークの機能強化を図るため従来の P D C A サイクルによる目標管理を拡充し、ハローワークのマッチング機能の総合評価を平成 27 年度から行ってきたところですが、岩手労働局（局長 永田 有）管内のハローワークにおける平成 29 年度の総合評価の結果がまとめ、10 所中、「良好な成果」が 5 所、「標準的な成果」が 5 所となりました（詳細は別紙参照。）。

30 年度においても、29 年度の評価結果を踏まえ、この総合評価の本来の目的であるハローワークの業務改善につなげ、機能強化に引き続き取り組みます。

【参考 1】

参考 1-1 は各ハローワークの 29 年度当初に設定した目標値一覧であり、参考 1-2 は 29 年度のこの取り組みにかかる各ハローワークの所長による分析等となっています。

【参考 2】

30 年度についても同様の取り組みを行っており、その具体的な内容として参考 2-1 は各ハローワークの 30 年度当初に設定した目標値一覧であり、参考 2-2 は設定した目標値のうち「主要指標」（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数の 3 指標）にかかる各ハローワークの事業計画の概要となっています。

【参考 3】

平成 26 年 6 月 24 日に「『日本再興戦略』改訂 2014～未来への挑戦～」が閣議決定され、外部労働市場の活性化による失業なき労働移動の実現に向け、官民協働による外部労働市場の求人・求職マッチング機能の強化を図ることになったことから、平成 27 年度よりハローワークの機能強化のための取り組みを行っており、その一環として今般、総合評価の結果等を公表するものです（参考 3 参照。）。

# 平成29年度における総合評価結果

別紙

岩手労働局職業安定部職業安定課

ハローワークの名称	総合評価の評語
ハローワーク 盛岡	良好な成果
ハローワーク 釜石	標準的な成果
ハローワーク 宮古	良好な成果
ハローワーク 花巻	良好な成果
ハローワーク 一関	標準的な成果
ハローワーク 水沢	良好な成果
ハローワーク 北上	標準的な成果
ハローワーク 大船渡	標準的な成果
ハローワーク 二戸	良好な成果
ハローワーク 久慈	標準的な成果

## 【全国と岩手のハローワークの類型ごとの状況】

類型	総合評価の評語	類型ごとの状況	
		岩手局(10所)	全国(437所)
類型1	非常に良好な成果	0	10
類型2	良好な成果	5	197
類型3	標準的な成果	5	227
類型4	成果向上のため計画的な取組みが必要	0	3

# 平成29年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標値一覧

岩手労働局

所名	所重点指標選択数	主要指標 (必須)			補助指標 (必須)		所重点指標 (選択)													
		全国統一指標			全国統一指標		全国統一指標											局独自指標		
		就職 件数 (常用)	充足 件数 (常用)	雇用 保険 受給者 の早期 再就職 件数	求人 に対する 紹介率	求職者 に対する 紹介率	生活 保護 受給者 等の 就職 件数	障害者 の 就職 件数	学卒 ジョブ サポ- ーター の 支援に よる 正社員 就職 件数	ハロー ワーク の職業 紹介に よる、 正社員 に結び ついた フリー ター等 の件数	公的 職業 訓練の 修了 3ヶ月 後の就 職件数	マザーズ ハロー ワーク 事業に おける 担当者 制によ る就職 支援を 受けた 重点支 援対象 者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職 件数	介護・ 看護・ 保育 分野の 就職 件数	建設 分野の 就職 件数	生涯 現役 支援 窓口で の65歳 以上の 就職件 数	求人 支援員 にかかる 開拓 求人の 充足数	新規 高卒者 の県内 就職 割合	60歳以 上の高 齢者の 就職件 数
岩手局		27,969	27,160	6,572	23.3	26.1	730	1,207	2,549	3,020	1,293	89.4	52,105	11,062	2,900	1,150	62	7,750	66.1	4,041
盛岡所	7	8,893	9,428	2,213	25.1	24.4	352	-	1,820	-	407	89.4	17,988	3,558	-	-	62	-	-	-
釜石所	3	1,982	1,677	387	20.3	26.2	-	-	-	207	-	-	3,159	673	-	-	-	-	-	-
宮古所	3	1,954	1,710	412	19.2	26.9	-	-	-	-	-	89.4	3,431	729	-	-	-	-	-	-
花巻所	4	2,441	2,344	528	21.8	28.8	-	84	-	-	140	-	4,428	978	-	-	-	-	-	-
一関所	4	3,027	2,655	683	24.7	27.4	42	118	-	-	-	-	4,974	1,175	-	-	-	-	-	-
水沢所	4	2,720	2,548	700	25.8	26.8	42	-	-	-	-	89.4	5,437	1,170	-	-	-	-	-	-
北上所	4	2,488	2,612	640	21.2	27.9	42	-	-	-	-	-	5,912	1,075	-	-	-	-	67.6	-
大船渡所	3	1,730	1,650	382	19.0	27.6	42	-	-	-	-	-	3,140	662	-	-	-	-	-	-
二戸所	3	1,214	1,087	281	23.9	27.4	-	-	-	-	62	-	1,670	424	-	-	-	-	-	-
久慈所	3	1,520	1,449	346	22.8	26.2	-	-	-	-	-	-	1,966	618	-	-	-	-	51.0	-

※ 「所重点指標」にあつては、所の規模により選択数が指定されている。

# ハローワーク盛岡 就職支援業務報告（平成 29 年度）

参考 1-2

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「正社員就職」及び「雇用保険受給者の早期再就職の促進」を所の重点項目と位置づけ、特に正社員求人確保、人手不足分野における人材の確保を中心に取り組みを進めてまいりました。具体的には、事業所への訪問等を通じた正社員求人の開拓、各種助成金の活用についての周知や、求職者の態様、ニーズに合った個別支援のための求職者担当者制によるきめ細やかな就職支援を実施しました。

また、人手不足が特に深刻となっている介護・医療・保育における人材不足への対応として、福祉人材コーナーによる積極的マッチングをはじめとした求人者・求職者双方への支援などを進めてまいりました。

主要指標でもある雇用保険受給者早期再就職件数については、初回認定日における就職支援メニューの周知と希望職種に合わせた求人情報の提供を進め、就職支援セミナーや所主催によるミニセミナー、企業説明会&ミニ就職面接会への積極的な参加勧奨などを行いましたが、結果として雇用保険受給者早期再就職件数は、目標 2,213 件に対し実績 2,204 件（目標達成 99.6%）となり、目標達成まで 9 件及ばなかったものの、他の主要指標については、就職件数が目標 8,893 件に対し実績 8,997 件（目標達成 101%）、充足件数が目標の 9,428 件に対し実績 9,524 件（目標達成率 101%）となりそれぞれ目標を達成することが出来ました。

また、もう一つの重点項目である正社員就職については、正社員求人数が目標 17,988 件に対し実績 18,546 件（目標達成率 103%）、正社員就職件数は目標の 3,558 件に対し実績 3,585 件（目標達成率 101%）となり目標を達成することが出来ました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、求人者、求職者ともに庁舎施設に係る案内表示が分かりにくいとの意見が多く寄せられていることから、案内表示の内容や設置場所について協議を行いました。

平成 30 年 4 月からは福祉人材コーナーを拡充した「人材確保対策コーナー」を設置するため、コーナーの開設に合わせて新たな案内板を設置しました。

ただ、庁舎の老朽化や事務室が狭隘なことなどの問題を抱えており、今後も継続してより利用しやすい環境を整えていく必要があります。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

求人数が増加している中で求職者が減少傾向となっており、福祉・建設・警備・運輸業など特に人手不足が深刻となっている分野における支援が急務となっていることから、平成30年4月に開設した人材確保対策コーナーによる支援の強化を進めるとともに、コーナー活用を促すための周知を行い利用者の促進を図ります。

また、雇用保険受給者の早期再就職の促進については、平成29年度の取組を継続して実施するほか、早期支援ナビを中心とした求職者担当者制による就職支援を進めます。

(4) その他業務運営についての分析等

深刻化する人手不足への対応として、潜在的求職者の掘り起こしを行うため、平成29年度に取り組んだ公共交通機関を利用した広報活動については引き続き実施することとして、鉄道、バスの車内のほか公共交通機関の駅舎内など広くハローワーク利用の周知を行います。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護 受給者の 就職件数	学卒ジョブ サポーター 支援による 正社員就 職件数	公的職業 訓練の修 了3ヶ月後 の就職件 数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る重点支援 対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役 支援窓口で の65歳以 上の就職 件数
実績	8,997	9,524	2,204	86.7%	92.1%	23.2%	23.6%	302	1,851	426	91.6%	18,546	3,585	83
目標	8,893	9,428	2,213	90.0%	90.0%	25.1%	24.4%	352	1,820	407	89.4%	17,988	3,558	62
目標達成率	101.2%	101.0%	99.6%	—	—	92.5%	96.7%	85.8%	101.7%	104.7%	102.5%	103.1%	100.8%	133.9%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、求職者の減少が続いていることから、「就職件数」の目標達成のため、求人PRタイム・事業所見学の実施によるマッチング強化に加え、あらたに求人情報端末利用の受付制導入による利用者との接点の拡大や声掛け、1か月の行事を一覧にした予定表の掲示や配布による支援メニューのPR、所独自の就職支援セミナーの実施による窓口利用の勧奨等により、窓口相談への誘導及び来所勧奨の取組みを重点的に行いました。所重点項目においては、「ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数」に重点的に取組み、登録者のニーズの確実な把握と求職者担当者制の適切な個別支援により目標を達成することができました。

その他、学卒業務においては、地元企業の理解促進や地域の人材確保を目的とした高校生対象の企業説明会「みらい☆スケッチ」を進学希望者にも積極的に働きかけを行い、多数の参加者がありました。障害者業務においては、障害者の就職促進、障害者雇用率未達成企業への啓発をより一層進めるため、これまで釜石市内の会場で共同開催していた障害者面談会を、遠野市及び関係機関と連携し、あらたに、遠野市内の会場においても開催しました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

あらたに求人受理業務及び助成金業務のマニュアルを作成し、求人受理及び助成金活用の留意事項について所内研修を実施した他、外部講師を招いて、釜石市の雇用対策（釜石市職員）、労働基準法（労働基準監督署職員）、発達障害の特性（障害者就業・生活支援センター職員）、生活保護受給者への支援内容（沿岸広域振興局職員）についての所内研修を実施し、職員・相談員の知識習得及び資質向上に取り組みました。

また、職業相談の基本業務に求められる技法や知識の習得により職業相談の充実・専門性を高めるため、労働局主催のキャリアコンサルティング研修に職員2名を送り出しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートで、所内の掲示がわかりづらいとの意見があったことから、掲示物を集約しパンフレットスタンドのレイアウトを変更するとともに、支援メニューや行事を一覧表にまとめて掲示・配布することで、見る側を意識しての改善を行った。

求人情報端末の受付制導入により、利用者との接触機会を増やすと共に、利用時に手交する利用カードや端末画面上のテロップに、支援メニ

ューや窓口相談のメリットを掲載し周知に努めました。また、ハローワークガイドの内容を見直し、求職者サービスや職業相談のメリットを強調する内容に変更しました。

就職支援セミナーにおいて、一方向のビデオセミナーを見直し、あらたに、双方向の就職支援セミナーを実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者が減少し、人手不足が顕著となっていることから、求人PRタイム・事業所見学会の充実、就職面接会等の実施等により人手不足分野の充足サービスを図ります。また、自治体とも連携し、育児世代やシニア層の求職者の掘り起こしを進めていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

特にありません。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

所独自の就職支援セミナーは、参加者のアンケート結果から、窓口利用に対する抵抗感や離職による喪失感の軽減につながり、前向きな姿勢へ変化がみられることから、就職意欲の喚起につながっていると思われます。今後も取組みを継続し、参加者の感想や要望を参考に、内容を見直し・充実させていくと共に参加者の確保に努めていきます。

#### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	正社員求人 数	正社員求人 件数	正社員に結 び付いたフリ ーター等の 件数
実績	1,876	1,586	372	89.2%	95.2%	19.4%	25.6%	2,883	638	262
目標	1,982	1,677	387	90.0%	90.0%	20.3%	26.2%	3,159	673	207
目標達成率	94.7%	94.6%	96.1%	—	—	95.5%	97.7%	91%	95%	126.6%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク宮古 就職支援業務報告（平成 29 年度）

参考 1-2

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、前年度主要 3 指標の目標を達成できなかったことから、その結果を踏まえ、平成 29 年度は、主要 3 指標の一つ「雇用保険受給者の早期再就職件数」を重点課題としました。この重点課題を達成できれば、相乗効果で主要 3 指標を含む他の指標も改善に向かうという仮説を立て、その目標達成に向けて、①給付制限者に特化した早期再就職支援（「求職者担当者制」「求職者支援データベース作成」）、②求職者への就職意欲喚起（「当所独自のセミナー開催」「当所独自の求職者支援プログラムガイド作成」）について取り組みました。その結果、「雇用保険受給者の早期再就職件数」をはじめとする主要 3 指標全てで目標を達成することができ、また、他の指標も目標を上回るなど相乗効果が見られました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、一般職業紹介の基礎知識を中心に実際の窓口での個別相談の事例を挙げながら、傾聴技法やキャリアコンサルティング技法を中心に据えて研修を行いました。職員・全相談員を対象にしたため同一内容で複数回実施し、更に職業紹介担当者を中心に応用編としてロールプレイ演習等も実施しました。

また、上記所内研修の実施をきっかけとして、キャリアコンサルティング資格の取得に前向きな職員、相談員に対して業務時間外でロールプレイ演習を積極的に実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートで、事業所側から「待ち時間が短い方が助かります」とのご意見・ご要望があったことから、特に、事業所の待ち時間が問題となる「年度当初の雇用保険適用窓口」の対応に当たって、総合案内での受付方法を工夫（総合案内で手続予定の内容を確認して「予定表（受付→適用）」に記載、適用係において個々の事業所の業務量（作業量）を把握した上で対応）するなど、待ち時間の短縮に向けて改善を図りました。この取り組みは、事業所から好評であったことから今後も継続して行う予定としています。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成 29 年度は「雇用保険受給者の早期再就職件数」を重点課題として取り組み、上記(1)の①のとおり成果を上げることができましたが、支援対象となる給付制限者の求職者支援プログラム提案セミナーへの参加が、約 4 割に留まっています。参加者のアンケートでは、肯定的な意見が多かったことから、セミナーへの参加者を増やすために、「参加者の声」を集約したチラシを作成・配付するなど周知方法にも工夫を加えて積極的に参加を勧奨していきたいと考えております。また、給付制限中の求職活動が通常の認定日の来所時間（午前）となっていたことから、今後は、午後にも相談時間を設定して支援対象との相談時間を確保するなど個別支援の充実を図っていく予定としています。

#### (4) その他業務運営についての分析等

・宮古地域の基幹産業である水産加工業で、さんまの不漁による工場休止(岩手缶詰(株)宮古工場)があり、離職者(75名)の再就職支援をハローワークが中心となり推進しました。具体的には、離職前(在職中)の各種支援内容の事前説明会・求職登録、離職後の雇用保険受給手続き・再就職支援セミナー・事業所見学会・就職面談会・ジョブカード作成支援等を実施しました。

・高校生の管内就職を促進することを目的に、平成 26 年度から実施している高校 1 年生を対象とした「高校生しごとメッセ」などの効果もあり、平成 29 年 3 月卒で 40.1%であった管内就職率が平成 30 年 3 月卒で 49.5%と 9.4 ポイントアップしました。平成 29 年度は新たな取組として、管内全高校 3 年生を対象にアンケート調査(就職・進学等に係る意向調査：回答 588 名)を実施しました。今後、高校生の就職支援等を推進していく中で、今回の調査結果を活かしていく予定としています。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 特記事項

求職者の早期再就職の実現とキャリア形成支援を目的として、求職者に対して具体的な当所独自の就職支援策「求職者支援プログラム」を提案し実施しました。具体的には、求職者担当者制を軸とした個別支援を重点化した取り組みを強化し、求職者との関係構築を基盤としながら問題解決を図るため、当所が企画するハローワーク支援メニュー（求職者担当者制、独自セミナーの開催、多角的グループワークの開催、求職者人材情報の発信等）を提案していくオーダーメイド型就職支援を展開しました。

個別支援を重点化した取り組みの成果として、「PDCA 総合評価の主要3指標及び所重点指標の全指標において目標達成」「職業相談における関係構築力、問題解決力、求職者ニーズの把握力の向上」「求人者・求職者サービス向上による職員・相談員のモチベーションの高まり」「求人者・求職者への多様なニーズに対応した企画提案力の向上」等、ハローワークの利用者にとって心強い支援となっただけではなく、ハローワークにとっても組織力の強化に繋がった取り組みとなりました。

### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対 する紹介率	マザーズハ ローワーク 事業におけ る重点支援 対象者の就 職率	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	2,044	1,840	527	87.0%	98.9%	20.5%	27.8%	96.6%	3,430	907
目標	1,954	1,710	412	90.0%	90.0%	19.2%	26.9%	89.4%	3,431	729
目標達成率	104.6%	107.6%	127.9%	—	—	106.3%	103.3%	108.0%	100.0%	124.4%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク花巻 就職支援業務報告（平成 29 年度）

参考 1 - 2

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、障害者雇用率が局平均を大きく下回っていることから、障害者の就職件数を上げることを最重要と考え重点的に取り組みました。具体的には、障害者就業・生活支援センターや特別支援学校と連携して、求人開拓、職場実習の計画及び障害者就職面談会の開催などの取り組みにより、就職件数は 90 件と前年度を 6 件上回り、目標を達成することができました。

また、当所は管内に県内唯一のポリテクセンターを有していることから、職業訓練受講者の就職支援も力を入れており、受講コースごとに対応した求職情報を作成し求人開拓等の際に情報提供しているほか、個別相談によるマッチングを行いました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査結果において、適職診断のニーズが高かったことから、周知チラシを作成し利用促進を図った。また、事業所から窓口対応における評価が低かったことから、研修を実施し接遇向上を図りました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

「ミニ面談会」、「事業所見学会」は事業所、参加者からの評判も良く、一定の充足も図られたことから、今年度も継続して取り組むこととし、一層の効果をあげられるよう人手不足分野（建設、介護・福祉、警備）に特化した合同面接会を開催も実施します。

相談員の労働条件変更に伴うシフト制の導入により、朝、夕の時間帯が手薄になったため認定日における認定時間の見直しを行い、十分な相談時間の確保を図ります。

### （4）その他業務運営についての分析等

有効求職者全体が減少しているなかで 55 歳以上の求職者層は増加しており、課題を抱える求職者も増加していることから求職者担当者制や各種セミナーによる就職支援を強化しました。

また、正社員求人の確保を図るため一層の求人開拓を行うとともに、求職者が応募したくなる「魅力ある職場づくり」を目指した雇用管理指導業務にも積極的に取り組みました。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

特になし

## 4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の就 職件数	公共職業訓 練の修了3 か月後の就 職件数	正社員求人 数	正社員 就職件数
実績	2,341	2,267	512	86.0%	95.7%	19.7%	28.2%	90	140	4,252	1,026
目標	2,441	2,344	528	90.0%	90.0%	21.8%	28.8%	84	140	4,428	978
目標達成率	95.9%	96.7%	97.0%	—	—	90.4%	97.9%	107.1%	100.0%	96.0%	104.9%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク一関 就職支援業務報告（平成 29 年度）

参考 1-2

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所においては、求職者が昨年度来減少傾向にあるため、潜在求職者の掘り起し等を図るため、独自の就職支援セミナーやミニ面接会・事業所見学会を重点的に開催することとしました。

独自の就職支援セミナーは 52 回開催し、のべ 902 人が参加したほか、ミニ事業所見学会・面談会は 14 回実施し、のべ 92 人が参加、4 月末日現在 24 人を就職に結びつけることができました。

また、ハローワーク利用促進を図るため、管内路線バス車内に P R 広告を掲示したことにより、一定の効果はあったものと思料しています。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者に対する「事業所詳細情報」の充実化を図るため、画像情報の最新化（既存の画像を最新のものに差し替えるほか、新たな画像の掲載）のため、事業所からの協力をこれまで以上に得ることとしました。

また、求人者に対しては、「求人条件設定情報の提供」や「求人記入の助言」を積極的に行うため、関係資料を取り纏めた「求人事業所連絡便」の内容を更に充実するとともに、見やすい資料の作成・提供に取り組んでいます。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者に対する「事業所詳細情報」の充実化を図るため、画像情報の最新化（既存の画像を最新のものに差し替えるほか、新たな画像の掲載）のため、事業所からの協力をこれまで以上に得ることとしました。

また、求人者に対しては、「求人条件設定情報の提供」や「求人記入の助言」を積極的に行うため、関係資料を取り纏めた「求人事業所連絡便」の内容を更に充実するとともに、見やすい資料の作成・提供に取り組んでいます。

### （4）その他業務運営についての分析等

高校卒業者の管内就職数は昨年度より 2 名増加（177 人→179 人）したものの、率的には前年度を下回りました（管内就職率 50.0%→48.4%）。このため、地元企業の魅力を知ってもらうため、管内市町・商工団体等との連携により、昨年度に引き続き、高校 3 年生を対象とした「高卒求

人・求職情報交換会」を開催（49社、210人参加）したほか、高校2年生を対象とした「高校生未来さがしプロジェクト」を開催（34社、330人参加）しました。

また、管内市町と連携し、マザーズコーナーの出張相談を実施したほか、若者サポートステーション等へ出向いての出張相談（月2回）を実施し、潜在求職者の掘り起こし等を図っています。

人手不足業種への対策として、「業素別求人情報一覧」（建設・運輸・警備を追加）を作成し、JR一ノ関駅隣接の市の施設内に配架しました。

## 2 総合評価（※）

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

特にありません。

#### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	2,780	2,374	621	88.1%	92.7%	21.5%	26.7%	58	127	5,062	1,205
目標	3,027	2,655	683	90.0%	90.0%	24.7%	27.4%	42	118	4,974	1,175
目標達成率	91.8%	89.4%	90.9%	—	—	87.0%	97.4%	138.1%	107.6%	101.8%	102.6%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク水沢 就職支援業務報告（平成 29 年度）

参考 1-2

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「正社員求人数」及び「正社員就職件数」を重点的に進めることとし、正社員求人確保及び求人説明会の開催による就職支援を積極的に取り組みました。正社員求人は目標の 5,437 人を上回る 6,085 人を確保しました。求人説明会は 27 回開催（前年度比 2 回増）、事業所数 116 社（同 41 社増）、求職者 278 人（同 76 人増）のうち 25 人（同 3 人増）を就職に結びつけることが出来ました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査の結果、見やすいポスター掲示について「できている」の割合が、求人者が 40.4%で下位から 5 番目、求職者に至っては 49.6%（局平均 52.4%）と下位から 3 番目と低調であったことから、見やすいポスター等の掲示を取り組みました。具体的には、ポスターを利用者の目線の高さを意識し、できるだけ同サイズのを貼ることとしました。配布用リーフレットは、基本的に貼り出さず配布することを徹底することとしました。周知徹底したい配布用リーフレットは窓口の仕切りパーテーションには貼らずに、卓上用のカタログスタンド（3 段）を各窓口に配置することにより雑然感をなくし、落ち着いた相談環境を目指すこととしました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人説明会は月 2 回の定期開催、原則業種限定なしとしますが、全 24 回中、正社員限定 2 回、福祉限定 1 回、保育限定 1 回、高齢者限定 1 回を目標に計画し、多数の参加者を募っていくこととします。また、所独自セミナー「就活ポイントセミナー」は月 2 回の定期開催を目標に計画し、アンケート結果等により随時内容の見直しを検討することとします。

### （4）その他業務運営についての分析等

平成 29 年度は、自動車産業からの人材確保の動きが一服した影響はあったものの、年間を通じて世界経済の回復による半導体関連の需要拡大や省力化需要の高まりを追い風に機械器具製造関連を中心に生産活動が活発な状態で推移し、新規求人数は 13,717 人と 7.9%増加し、正社員求人数も目標を上回りました。一方、新規求職者数は 6,891 人と 1.8%減少し、在職者割合が約 4 割の状況であったため、就職件数目標が未達成となりました。今後は引き続き魅力ある正社員求人の確保を図るとともに、求職者担当者制による積極的なマッチングの実施により、

就職件数の増加を目指します。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る重点支援 対象者の就 職率	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	2,707	2,559	732	85.0%	93.2%	22.2%	24.8%	59	92.1%	6,085	1,297
目標	2,720	2,548	700	90.0%	90.0%	25.8%	26.8%	42	89.4%	5,437	1,170
目標達成率	99.5%	100.4%	104.6%	—	—	86.0%	92.5%	140.5%	103.0%	111.9%	110.9%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク北上 就職支援業務報告（平成 29 年度）

参考 1-2

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

北上市雇用対策協定に基づく事業のうち「人手不足企業に対する支援」を重点項目として、北上市と連携を図り面接会・事業所見学等マッチング機会の確保や求職者の掘り起しに取り組みました。特に北上市と共同開催による「北上地域合同就職相談会」を6回、「事業所見学会&ミニ面接会」を11回、マザーズコーナーによる出張ガイダンス等を4回開催し、いずれも目標を上回る参加者を確保するとともに、就職者数についても18人と目標を達成しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

平成29年11月より「一定期間来所しない有効求職者」に対する来所勧奨の取組として、求職登録月の翌月以降相談実績のない求職者に対し、能動的マッチングによる求人情報の提供を通じて来所勧奨を行い継続相談となるよう取組みを行い、106名に対し実施し、うち14人が来所相談に応じ求職無効となることを防止することができました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者の減少傾向に伴い重点項目における目標達成率が伸び悩む中、特に雇用保険受給者早期再就職件数の目標達成率が低いことから雇用保険受給者への早期再就職の働きかけを強化するため次の取組を実施します。

- ① これまで雇用保険説明会において集団説明していた再就職手当に係る説明を、初回認定日に「再就職手当のシュミレーション」資料の活用により制度内容や受給見込額等について具体的かつ、わかりやすく説明することにより早期再就職への意欲喚起を図ります。
- ② 給付制限中の認定日当日を「相談日」に指定して来所勧奨を行い、職業相談においては希望条件により事前マッチングした求人を提案するほか、就職相談会や就職支援セミナーの情報を提供して早期再就職に向けた働きかけを強化します。

※独自セミナーをもっと詳しく受講したいとのアンケートへの要望も多かったことから、30年度においては内容を「応募書類作成編」「面接対応編」に分割して充実を図って実施することとします。

### （4）その他業務運営についての分析等

北上市雇用対策協定に基づき面接会・事業所見学等マッチング機会の確保や求職者の掘り起しに積極的に取り組みました。東芝メモリ岩手(株)の立地が決定し、2020年の量産開始に向けて、新卒者370名、中途採用者140名、計510名の求人が提出されたことから、平成30年度においては、人手不足分野を始めとする地場企業に対する求人充足とともに、立地企業の人材確保対策を進めるため引き続きマッチング機会確保について重点的に取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

特になし

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数	新規高等学 校の県内就 職割合
実績	2,233	2,246	549	82.5%	92.1%	21.5%	27.4%	70	4,796	1,031	74.8%
目標	2,488	2,612	640	90.0%	90.0%	21.2%	27.9%	42	5,912	1,075	67.6%
目標達成率	89.8%	86.0%	85.8%	—	—	101.4%	98.2%	166.7%	81.8%	95.9%	110.7%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク大船渡 就職支援業務報告（平成29年度）

参考1-2

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

求職者が減少している中で、ハローワークの利用を促進するため、窓口利用の活性化に重点をおき、職業相談件数などのアウトプット数値の向上を意識して取組みました。具体的には、支援サービスメニューやイベント情報などの情報発信の工夫として、掲示コーナーの見せ方、持ち帰り資料の掲載内容の見直し等を行い、さらに、求職者担当者制による職業相談や来所勧奨型紹介など積極的・能動的なマッチング対応により、リピーターや新規求職者の取り込みを図りました。

また、求人者に対しては、人手不足の課題解消に向けて多様な求職者ニーズに応じた柔軟な労働環境を整備し魅力ある職場づくりを進める必要性を訴えるため、大船渡市・岩手労働局と連携し11月に「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー」を開催するなど、意識啓発に努めました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職員・相談員対象の業務研修を年4回実施し総合評価のPDCA管理の共通認識と取組への意識づけや専門知識の向上を図りました。また、業務改善・サービス向上の各種提案ごとに班編成をし、数回にわたるディスカッションを重ねる中でより具体的な内容の実行化に向け取組みました。さらに、職業紹介業務の地域課題に対する取組強化のため、地域の特性や課題等が類似する沿岸地域の4所と労働局職員をメンバーに業務連絡会議を開催し、ノウハウの共有や意見交換を行うとともに、所内での伝達を行い他所の取組も参考にしながら業務に活用してきました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者導線を考え「どこに、なにが」を意識した統一感のあるわかりやすい情報掲示、60歳以上の応募を歓迎する求人など求職者ニーズの高い態様別の求人検索方法の改善等、利便性の向上を図りました。陸前高田市ふるさとハローワークでは、女性活躍と窓口利用促進のため簡易なキッズコーナー用備品をスタッフ自らの持ち寄りで設置したり、時期を考慮したテーマ別の求人掲示など目を引く情報掲示に取組み利用者の増加に繋げました。利用者に満足いただけるハローワークを目指し業務改善・サービス向上の提案を全職員・相談員から集約し、班編成による意見交換をしながら所一丸となって改善に取り組みました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今後も求職者担当者制、来所勧奨型紹介を中心とした能動的マッチングに取り組むうえで、マッチング精度の向上に努めます。慢性的な人手不足解消に向けて、求人受理時等あらゆる機会を活用し、求職者ニーズを丁寧に説明しながら多様な働き方がしやすい環境整備、雇用管理改善などの周知・提案等の求人者支援を積極的に行い充足数の向上を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

非常勤職員のシフト化・時短勤務の影響により窓口体制を維持するうえで庁外活動や求人充足会議が計画的に運営できない状況がありました。今後は求人充足に重点を置き、職業紹介担当と求人担当との緊密な連携を図りミスマッチ解消に向けた求人者支援を積極的に行います。大船渡市・労働局と連携して行ったワーク・ライフ・バランス推進セミナーでは、地域が抱える課題の共通認識を図り、企業の意識改革や取組の推進に一層発信効果が高まったと考えており、今後も地方自治体と緊密な連携をとりながら地域事情に合わせた事業に取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	正社員求人 数	正社員就職 件数	生活保護受 給者等の就 職件数
実績	1,656	1,530	369	95.1%	98.0%	18.4%	27.5%	2,885	649	59
目標	1,730	1,650	382	90.0%	90.0%	19.0%	27.6%	3,140	662	42
目標達成率	95.7%	92.7%	96.6%	—	—	96.8%	99.6%	91.9%	98.0%	140.5%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク二戸 就職支援業務報告（平成 29 年度）

参考 1-2

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、特に「就職件数」と「公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数」について、重点的に取り組みました。

先ず、「就職件数」については、「求職者担当者制」を積極的に展開することをポイントに職業相談部門の職員も含めた機動的な部門体制による運用の実施を図りました。具体的には、雇用保険受給者のうち緊要度の高い者、給付制限期間中の者、職業訓練受講修了者に対して、求職担当者制による支援をよりきめ細かに実施することで、支援対象者は172人となり、そのうち109人が就職に結びついた結果、就職率は63.4%となりました。平成29年9月倒産（うち管内解雇者67名）の離職者についても、積極的に求職者担当者制の対象者とし、支援対象者24名のうち18人が就職となり、高い効果が得られました。

また、雇用保険説明会と初回講習を分離し、就職意欲の喚起に十分に時間を取った開催としたり、減少する求職者対策として、無効求職者に対する再登録の案内を発送するなど重層的な取り組みも継続的に実施することで、最終的に就職件数は、1,303件、目標達成率は107%となりました。

次に、「公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数」については、地域の職業訓練実施機関との強力な連携関係を維持しながら、訓練の開始時から修了までに、応募書類の作成指導や面接指導などを含めた多様な支援メニューを計画的に提供し実施することで、目標62人に対して74人が就職となり、達成率は119%となりました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートの結果、求人者については96.5%、求職者については94.4%と高い評価になってはいるものの、このアンケートのコメントの中には、窓口対応での「接遇」に関する意見がみられたため、改めて、「ハローワークサービステキスト」に基づく研修を実施しました。

また、ハローワークサービス自主点検表・満足度調査から提案された事項を基に、職員・相談員より提案された改善措置を確実に実行しています。具体的には、高齢者求人不足への意見対応として、求人検索装置への窓口誘導案内を勧奨するテロップや平成30年4月から館内放送により、交代勤務の昼休みが始まる前（11:15）、閉庁時刻が迫ってきたタイミング（16:45、17:00）において、早めの窓口利用を呼びかけるアナウンス・声かけを実施しています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今後も求職者の減少傾向が見込まれることから、職員・相談員が一丸となって常に利用者の目線で「満足していただけるサービス」を提供することで、ハローワークの利用を促進していくことが重要であり、一人でも多くの就職と一件でも多くの充足に結びつける努力を継続していかねばならないと考えています。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 29 年度においても、前年度と比較して新規求人数が大幅に増加し、新規求職者数は減少傾向で推移し、紹介件数も減少する中、小規模所の長所を活かしたきめ細やかな対応や求職者担当者制の着実な実施など基本業務の徹底を図った結果、就職件数について達成率 107%と目標を達成することができたことから、新年度においても、求職者担当者制をより効果的に実施しながら、自所による求人説明会やミニ面接会の開催、雇用開発協会と連携した求人相談会や面接会など、直接・間接に紹介・就職に結びつく形でのイベントを幅広く実施・展開していきたいと考えています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

特にありません。

#### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	正社員求人 数	正社員就職 件数	公的職業訓 練の修了3 ヶ月後の就 職件数
実績	1,303	1,168	307	96.5%	94.4%	22.8%	26.5%	1,878	538	74
目標	1,214	1,087	281	90.0%	90.0%	23.9%	27.4%	1,670	424	62
目標達成率	107.3%	107.5%	109.3%	—	—	95.3%	96.6%	112.5%	126.9%	119.4%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク久慈 就職支援業務報告（平成 29 年度）

参考 1-2

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・主要指標である「就職件数」「雇用保険受給者の早期再就職件数」の他、地域自治体からのニーズも高い「新規高卒者の県内就職割合」の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、「事業所見学会」「求人説明会」「ミニ面接会」などの開催を積極的に推進しました。
  - ・特に「事業所見学会」「求人説明会」「ミニ面接会」については、地域自治体との共同開催としたことにより、広報及び運営の連携が強化され、求職者の就職意欲を喚起することができました。所管内の実情を鑑み人手不足な分野である食品製造、介護等に重点を置き、結果として、「事業所見学会 10 回（参加者 173 名）」「求人説明会 6 回（参加者 87 名）」「ミニ面接会 18 回（参加者 52 名・就職 38 件）」となり、求職者ニーズに応えることができました。
  - ・また、求職者にハローワークの窓口をより利用していただくため『窓口利用勧奨カード』に昨年度の就職支援実績を具体的に掲載し、求職者に対して積極的な支援が可能である旨の周知を行ったほか、求職者担当者制の運用を見直し、担当する対象求職者に所独自の『めざせ！早期再就職セミナー』の受講者を引き入れるなど取り組みを強化し、求職者に的確な支援を行えるような運用をはかり一定の効果を上げました。
  - ・反面、年度後半には求職者が大幅に減少した影響と、求職者ニーズがより生活環境にあった条件を強く希望する傾向もあり、就職件数及び充足件数は目標に達しませんでした。
  - ・他方、雇用保険受給者に対する雇用保険部門と職業紹介部門が連携をした所独自の「めざせ！早期再就職セミナー」は、計 36 回開催（参加者 248 名）となりました。早期再就職のメリットや求職者担当者制活用の呼びかけを毎週行い、積極的な求職者担当者制への誘導を図った結果、雇用保険受給者の大幅な減少の中にあっても、早期再就職件数は 346 件と目標を達成し、また、雇用保険受給者全体に占める早期再就職割合も 50%を超えるなど高い効果が確認されました。
  - ・新規高卒者の管内就職促進対策では、求人への早期提出依頼を目的に本年度初めて「新規学校卒業者を対象とする求人申込手続説明会」を実施した結果、求人受理を開始した 6 月 1 日から 1 か月間で 252 人と、総求人数（309 人）の 81.5%が早期に提出され、応募先の選択肢が広がりました。
- また、「求人事業所と高校教諭との懇談会」の実施方法を工夫し、「新規高卒者への求人説明会」に生徒の参加を積極的に促したことによりマッチングが進み管内就職割合は 46.0%（過去最高）となり、県内就職割合も 54.5%（昨年度に続き 50%超）となりました。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

・恒常的な人手不足感が強い介護・福祉分野において、「重労働・低賃金・休みにくい」など介護業務に対する漠然とした不安感を払しょくして正しい理解を促進するため、社会福祉協議会と連携し「先輩に聞いてみよう！介護ルーム」を介護従事者との意見交換を行うグループワーク形式で開催しました。

また、介護デーに合わせて管内の介護関係事業所（17社）を訪問し、実際に介護の現場で働いている従業員から事業所の雰囲気や待遇、働き甲斐を感じる点などの声をアンケート形式で直接書いていただき、さらに、介護現場の一日のスケジュールをイメージ化したものを求人説明会「介護の仕事フェア」に合わせて会場に掲示しました。従業員が直筆で記載したものは、来場者も足を止めて情報を見比べる様子が見られるなどの効果がありました。その後問い合わせ等の反応もあり、求職者に対して介護関係業務の理解を深めることができました。

## (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・介護職に対する具体的な職業理解の促進に一定の効果がある「先輩に聞いてみよう！介護ルーム」は、求職者に対する事前アンケートで介護職へのイメージを具体的に把握することにより、更に効果的な取り組みとなるよう充実を図ります。

・子育て中の方など時間的制約がありながらも労働生産性を有する求職者に対する就職支援を促進するため、管内市町村の労政担当課や子育て支援課等と連携して「子育て中の方のための就職ガイドブック」を作成し、市町村内庁舎内での掲示や、こども園等で父兄等に対して行う入所説明会時等に直接職員が訪問して配付のうえ、ハローワークに支援メニューを直接PRすること等を検討しています。

## (4) その他業務運営についての分析等

・求職者減少に伴って、引き続き職業相談、職業紹介件数が大きく減少し就職件数等が伸びない状況が想定されることから、当所を利用する求職者へのマッチング機能を確認なものとするべく、良質求人確保とともに、求職者担当者制、所独自の早期再就職セミナー、地域自治体と共同で事業所見学会・説明会・面接会などの確実な実施について、引き続き力を入れていくべきと考えています。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 特記事項

特にありません。

### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	正社員求人 数	正社員就職 数	新規高卒者 の県内就職 割合(3月末 時点)
実績	1,356	1,287	346	89.2%	97.5%	20.3%	27.1%	1,950	544	54.5%
目標	1,520	1,449	346	90.0%	90.0%	22.8%	26.2%	1,966	618	51.0%
目標達成率	89.2%	88.8%	100.0%	—	—	89.0%	103.4%	99.2%	88.0%	106.9%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

平成30年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標値一覧

岩手労働局

所名	所重点指標 選択数	主要指標 (必須)			補助指標 (必須)		所重点指標 (選択)															
		全国統一指標			全国統一指標		全国統一指標											局独自指標				
		就職 件数 (常用)	充足 件数 (常用)	雇用保険 受給者の 早期再就 職件数	求人に対 する紹介 率	求職者に 対する 紹介率	生活保護 受給者等 の就職件 数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポーター の支援による 正社員就 職件数	ハロー ワークの 職業紹介 により正社 員に結び ついたフ リター等 の件数	公的職業 訓練の修 了3か月 後の就職 件数	マザーズ ハロー ワーク事 業におけ る担当者 制による 就職支援 を受けた 重点支援 対象者の 就職率	正社員求 人数	正社員就 職件数	介護・看 護・保育 分野の就 職件数	建設分野 の就職件 数	生涯現役 支援窓口 での65歳 以上の就 職件数	新規高卒 者の県内 就職割合	人材不足分野の 就職件数			65歳以上 の高年齢者 の就職件 数
警備	水産 加工	運輸(自 動車運 転)																				
岩手局		26,238	25,165	6,252	21.7%	25.4%	770	1,214	2,452	2,955	1,135	92.1%	55,356	10,601	3,000	1,100	91	65.8%	491	241	1,325	1,539
盛岡所	7	8,789	9,198	2,177	23.2%	23.6%			1,817		374	92.1%	20,039	3,333	1,073		91					
釜石所	3	1,754	1,466	353	19.4%	25.6%				180			3,025	584								
宮古所	3	1,848	1,594	412	20.5%	27.8%						92.1%	3,624	829								
花巻所	4	2,263	2,161	483	19.7%	28.2%			69		103		4,618	959								
一関所	4	2,748	2,364	627	21.5%	26.7%	43					92.1%	5,414	1,153								
水沢所	4	2,550	2,503	690	22.2%	24.8%	38					92.1%	6,575	1,184								
北上所	4	2,152	2,129	530	21.5%	27.4%						92.1%	5,018	937			74.8%					
大船渡所	3	1,575	1,400	373	18.4%	27.5%	43						3,032	610								
二戸所	3	1,191	1,086	281	22.8%	26.5%					61		1,963	490								
久慈所	3	1,368	1,264	326	20.3%	27.1%		52					2,048	522								

※「所重点指標」にあつては、所の規模により選択数が指定されている。

# 平成30年度の総合評価の主要指標にかかる事業計画概要

岩手労働局職業安定部職業安定課

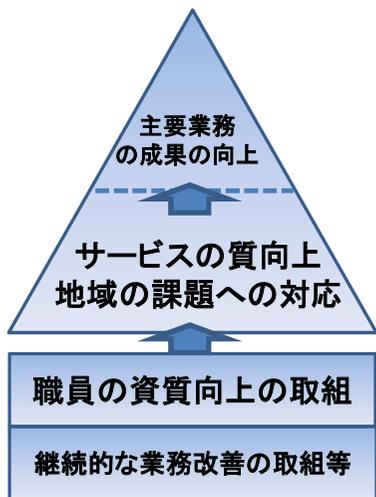
ハローワーク名	就職件数	充足件数	雇用保険受給者の 早期再就職件数
盛岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業説明会及びミニ面接会の実施</li> <li>○所独自の就職支援セミナーの実施</li> <li>○職種別求人情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求人充足会議による積極的なマッチング</li> <li>○求人担当者制によるマッチング</li> <li>○ミニ面接会及び事業所見学会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雇用保険受給者の初回認定日全員相談</li> <li>○給付制限に入る者への求人情報提供</li> <li>○早期あつ旋対象者に対する支援</li> </ul>
釜石	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当者制による就職支援の実施</li> <li>○求人PRタイム、事業所見学会等の開催</li> <li>○職業相談窓口への積極的な利用の誘導強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○育児世代、シニア向けに編さんした求人情報の提供</li> <li>○求人充足会議、個別求人開拓の実施によるマッチング精度の向上</li> <li>○求人PRタイム、事業所見学会等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○所独自の再就職支援セミナー実施</li> <li>○求職者担当者制による就職支援の実施</li> <li>○認定日の全員相談による再就職支援の実施</li> <li>○求人PRタイム、事業所見学会等の開催</li> </ul>
宮古	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当者制による就職支援</li> <li>○求職者直接参加型の多角的直接交流のグループワークの企画による就職支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中規模面談会、ミニ面談会等の就職面談会の開催</li> <li>○求人充足会議の定期的な開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定日全員相談と効果的なアンケートを併用した早期再就職支援の実施</li> <li>○給付制限者等をデータベース化(進捗管理)しての早期再就職支援の実施</li> <li>○早期再就職のための「求職者支援プログラム提案セミナー」の開催</li> </ul>
花巻	<ul style="list-style-type: none"> <li>○所独自の就活実践セミナー、ビデオセミナーによる再就職支援</li> <li>○求職者担当者制による就職支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求人充足会議の開催による求人支援</li> <li>○求人事業所画像情報の活用によるマッチング強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定日全員相談による能動的マッチングの実施</li> <li>○初回講習における再就職手当活用による早期再就職の意欲喚起</li> </ul>
一関	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当者制の実施による求人情報の提供、応募書類の作成指導、面接指導</li> <li>○ミニ事業所見学会・職種別就職面談会、ミニ企業面談会の開催による人手不足分野を中心とした就職促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○的確な求人選定による求人者・求職者の検討会議の開催</li> <li>○一部充足求人、印刷枚数の多い求人等応募意欲関心の高い求人専用コーナー掲示周知による早期応募勧奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定日の全員相談の実施</li> <li>○認定日の求人情報提供、緊要度・希望条件の再確認と情報共有</li> <li>○雇用保険受給者の求職者担当者制の積極的な実施</li> </ul>
水沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当者制を中心に能動的マッチングを積極的に実施</li> <li>○求人選択を支援するため、月2回定期的に求人説明会を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要件緩和と求人とのマッチング及び積極的な情報提供</li> <li>○求人充足を支援するため、月2回定期的に求人説明会を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職支援を目的とした委託セミナー及び所独自セミナーの受講による就職意欲の喚起</li> <li>○個別支援担当者による早期再就職支援の実施</li> </ul>
北上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当者制による就職支援の強化</li> <li>○積極的な求人情報の提供による来所勧奨の強化</li> <li>○就職相談会・事業所見学会等を通じた潜在的な求職者・利用者の掘り起しの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的な事業所訪問による正社員求人の確保</li> <li>○充足会議の効果的運営による充足支援の強化</li> <li>○求人担当者制の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再就職手当を活用した早期再就職への意欲喚起</li> <li>○給付制限期間中からの求人情報提供等による支援サービスの充実</li> <li>○積極的な求人情報の提供による来所勧奨の強化【再掲】</li> </ul>
大船渡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職相談会、事業所見学会、出張相談の開催</li> <li>○求職者担当者制の推進</li> <li>○応募書類作成・面接対策支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良質求人の確保とわかりやすい求人票の作成</li> <li>○求人担当者制の推進</li> <li>○求人充足会議等での情報共有によるマッチング強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早期段階からの再就職手当等の周知、来所相談勧奨</li> <li>○就職支援セミナーへの誘導と応募書類作成・面接対策支援</li> <li>○求職者担当者制の推進</li> </ul>
二戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当者制の実施により、雇用保険受給者及び一般求職者に対し、就職に向けたきめ細やかな支援の実施</li> <li>○求人検索機利用者の窓口誘導強化</li> <li>○無効求職者の掘り起こしによる新規求職者の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求人充足に向けた求人説明会の開催</li> <li>○求人と求職のマッチングに向けた、求人充足会議の充実・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当者制の実施により、雇用保険受給者への就職に向けたきめ細やかな支援の実施</li> <li>○認定日の全員相談や、「再就職手当額の目安」を手交するなど、就職意欲の喚起による紹介件数の確保</li> </ul>
久慈	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者担当者制の積極的な実施</li> <li>○事業所見学会、求人説明会、ミニ面接会の一体的な開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求職者を主体とした積極的な求人充足会議の実施</li> <li>○求人票以上の事業所情報の収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての認定日における全員相談による再就職支援</li> <li>○局主催就職支援セミナー及び所独自セミナーによる早期再就職支援</li> </ul>

# ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）参考3

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

## PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく  
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り  
就職支援を強化

## ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表  
→主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度中に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。  
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。  


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

## 評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
  - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
  - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
  - ③好事例は全国展開(評価期間終了後)  
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

# 総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

## 総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

### 全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

#### (1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

#### (2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査
- 紹介成功率

### ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

#### (1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職者数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職者数 など

#### (2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況を評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当者制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- 好事例を導入した業務改善を実施 など

「日本再興戦略」改訂2014～未来への挑戦～（ハローワーク関係抜粋）  
平成26年6月24日(閣議決定)

## 2. 雇用制度改革・人材力の強化

### 2-1. 失業なき労働移動の実現／マッチング機能の強化／多様な働き方の実現

#### (3)新たに講ずべき具体的施策

#### iii) 外部労働市場の活性化による失業なき労働移動の実現

「企業外でも能力を高め、適職に移動できる社会」を構築するため、国、地方、民間を含めたオールジャパンで円滑な労働移動を実現するための取組を抜本的に強化する。このため、以下のとおり施策を充実させる。

#### ④官民協働による外部労働市場のマッチング機能の強化

ハローワークの機能強化のため、各所ごとのパフォーマンスの比較・公表、意欲を持って取り組む職員が評価される仕組みの構築について、今年度中に具体的な方策の検討を行い、2015年度から実施する。(中略)さらに、ハローワークと地方自治体との連携強化が全国的に進展するよう、ベストプラクティスの整理を進め、普及を図る。